

# 第11号 バージャー病NEWS

2018年2月10日発行  
発行：認定NPO法人バージャー病研究所  
〒302-0118  
茨城県守谷市立沢980-1  
TEL 0297-47-9955  
FAX 0297-45-4541  
http://keiyu.or.jp/vascularcenter  
E-mail:vascular@keiyu.or.jp  
発行者：岩井武尚  
編集：小笠原紘子・宮口順一

## 医療法人慶友会つくば血管センターでの バージャー病治療の実態を報告します

### 慶友会とつながるバージャー病研究所は 日本で唯一の「難病バージャー病」に 取り組む認定NPO法人です。

10年前に開設以来、膝下とか膝上とかの下肢大動脈手術はゼロです。主として動物実験など研究を行ってきましが、今回は当センターで経験した臨床症例にスポットをあてて検討してみよう。

患者さんを含めて、病気に向きあう方法・術を知るヒントが得られればと思います。(ただし、都心にある御茶ノ水血管外科クリニックは、当院の出身ともいべき都内拠点であり、守谷での経過観察に不向きな症例15例ほどはそちらで診て資料を共有していることから今回の検討症例に加えた。水曜日午前中が、バージャー病を含む血管病の外来日(岩井担当)となっている。)

この10年間に経験した症例は45例になります。後進国を除いてどの国も患者数が減少している中で、貴重な臨床経験の場です。特に最近では、毎週のように連続して患者が来るなどインターネットの普及が関与しているとおもわれる傾向もみられています。

A	50歳未満の若年発症
B	喫煙者
C	下肢動脈の閉塞がある
D	上肢動脈閉塞または遊走性静脈炎の存在もしくは既往がある
E	喫煙以外の閉塞性動脈硬化症の危険因子がない

表1 診断基準

まず診断です。45例の患者さんから学んだことをいくつか紹介します。初診時は、診断基準(表1)を参考にし、診断を進めますが、患者さんの言葉だけを参考にしているのでは診断ができないことが少なくない。①特に50歳を過ぎて発症したと思われる例では要注意です。50歳以後発症すると難病の申請も不合格となるからです。手足の潰瘍や壊死が起こったのが50歳以降でも、手足のしびれ、冷感、歩行時筋肉痛(跛行)、レイノー現象が50歳前にあったのなら、その時が発症といえます。

さらに、②動脈だけの疾患が多い中で、バージャー病では静脈の病気が多いことあること。それが遊走性静脈炎とか、遊走性静脈炎と呼ばれている。足の表面の静脈が赤くなるものですが、簡単に目で見ても診断に到らないのが現状(図2)。



図2

静脈炎は血栓を作ることから、急性期以外難しかった診断。超音波を用いて検査するようにしたところ赤くなくとも軽い色素沈着部位の下の静脈が閉塞していることをはつきりとらせることができました(図3)。

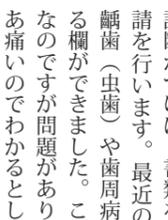


図3

従ってこの所見は、動脈の直接穿刺という手段で足部の動脈を撮影して確認に到ることが重要と考えます(図4)。



図4

もつと大切なことがあります。それは④症状のない手足の血管造影を行うと、ほぼ間違いなく閉塞動脈が見つかるということです。これはすでに先人がやっていたことですが、改めてその重要性が身に染みて判りました(図5)。



図5

診断がつけば、書類を作成して難病申請を行います。最近の申請書類では、齧歯(虫歯)や歯周病の状態を記入する欄ができました。これは偉大な進歩なのですが問題があります。虫歯はまあ痛いのでわかるとしても、歯周病は

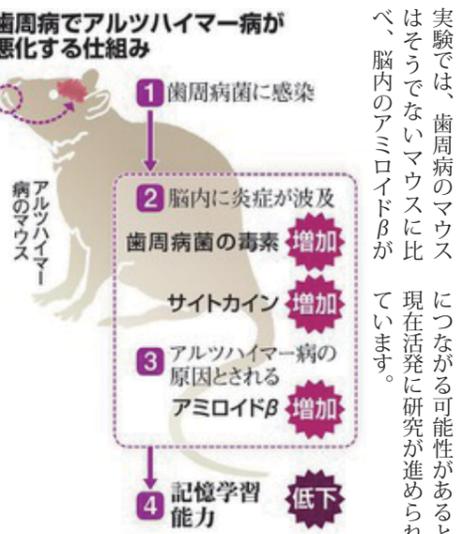
痛みがなく、歯が抜けていない場合は診断が難しいのです。そこで専門歯科医師の診断を仰がねばなりません。それが難しい場合はとりあえず、(イ)歯磨きの時に歯茎から出血したり、(ロ)自分で口臭があれ、歯周病がある、(ハ)欠損した歯があればそれは歯周病で歯が抜けてしまったとしています(図6) 現在の歯科医療では、虫歯で歯を失うことはまれだからです。



図6

最後に注意報です。こんなに有名な病気ですが、依然として誤診が少なくありません。その代表を3つあげます。一つ目は、膠原病です。その中でも強皮症、結節性多発血管炎は間違いやすいといえます。二つ目は、膝窩動脈捕捉症候群と膝窩動脈外膜腫脹です。ともに単純な閉塞をしめすときは問題ないのですが、強制的なスポーツをしたり、過激なスポーツで末梢動脈に血栓を飛ばすことになるのでバージャー病と鑑別が難しくなります。三つ目は、胸部出口症候群です。症状が上肢に限られるので診断できそうですが、「上肢のバージャー病」として間違えてしまいます。

不安、いろいろ起こりますが、思い切った禁煙で、すべてが解消です。病状が安定しているように見えて本人が油断して喫煙を始めると、悪魔が襲いかかります。健康に見えた反対側の足が腐り始めたり、脳梗塞を起こしたりで厳しい現実が待ちうけることになり。家族がいたときにはさらに悲惨です。病気の悪化を早く見抜くためには、専門医のそばを離れないようにしてください。



### 『歯周病』認知症悪化の原因にも!!

歯周病菌が認知症の症状を悪化させる仕組みを、日本の研究グループが解明した。歯周病菌の毒素がアルツハイマー病の原因とされる脳の「ゴミ」を増やし、症状を悪化させるのだ。認知症の6割を占めるアルツハイマー病は脳の神経細胞の中にアミロイドβといういわゆる「ゴミ」がたまり、細胞が徐々に死滅することが原因と考えられている。研究グループが行った動物実験では、歯周病のマウスはそうでないマウスに比べて、脳内のアミロイドβが約1.4倍に増えていた。さらに記憶学習能力を調べる実験でも歯周病マウスは認知機能が低下していたという。

また別の研究グループでは、重度歯周病患者と認知機能低下の相関性に着目。歯周病菌(Pg菌)のもつカテプシンBという酵素が、アルツハイマーの原因だと特定しました。歯周病の予防や治療は、全身疾患の発症や進行の抑制につながる可能性があるため、現在活発に研究が進められています。

### 告知板：第十一話 足を切断することになる 検査結果とは?

当センターでは大切断に至った方はいませんが、バージャー病で足の切断を余儀なくされる方はもちろんいます。

さまざまな検査がありますが、どのような検査結果だと足の切断を

考えるかということをお話しします。

- ① ABI/PWV値(血管年齢が出る検査)で足首の血圧(足関節圧)が50~70mmHg以下、
- ② 足背部分の皮膚の末梢循環を調べる検査である経皮酸素分圧(tpO2)で30mmHg以下、
- ③ 皮膚灌流圧測定(SPP)で40mmHg以下。これに当てはまる足先への血流が非常に少ない

状態と言えます。重症虚血肢です。血流とはすべの細胞に酸素や栄養を送り届け、二酸化炭素や老廃物を回収する働きを持ちます。



こうして潰瘍が治らず、感染も広がり、強い痛みが襲い、最終的に

できてしまうと傷は治せません。さらに、そこに菌が付着して感染が広がってしま

うと、抗生剤も潰瘍部分まで届かず菌を殺すことができません。

つくば血管センター血管診療技師 本間香織

当法人は皆さまからの寄付金により運営されています。たくさんのご支援、誠にありがとうございます。

■寄附受付口座：  
筑波銀行 南守谷支店 普通・1057042

■口座名：  
特定非営利活動法人バージャー病研究所  
代表 岩井武尚

■事務局連絡先：0297-47-9955  
担当/小笠原

### バージャー病相談室のご案内

バージャー病研究所のHPでは相談室を開設しております。日頃から気になる症状や疑問に思うことなどお気軽にご相談ください。ホームページからのメールフォームでも受け付けております。

http://keiyu.or.jp/vascular/

### 歯周病でアルツハイマー病が悪化する仕組み